

一般質問 **そこが聞きたい!**



小野寺賢一議員

前向きに合併を

小野寺賢一議員 これまで市町村合併について何度も質問し、前向きに取り組むべきと申し上げてきた。新特例合併法の期限内合併を見送り、その間、広域連携を模索し、相手方の将来ビジョンを見てからの理由では、町民の納得は得られないのではないかと。また、先行する現自治体との格差が生じ住民の不安が大きくなると思われる。町長 これまで、6月、9月議会などでの質問や行政報告でも申し上げてきたが、最上地域将来像検討会では、「合併した場合」と「広域連携を進めていった場合」

質問

市町村合併の最終判断は

回答 町づくりの全力を尽くす

の二つの報告がだされまして。合併した場合の中で明記されているのが「新庄最上地域8市町村の将来がどうなるのか」きちんとビジョンを示さないと平成17年3月31日が期限であった平成の大合併が議論された時点での結果と同じになるという提言があるにもかかわらず将来ビジョンは示されておられません。私は、今でも、むしろ新庄・最上の姿が見えない、示せないことのほうが、圏域とりわけ町村の住民の皆さんに不安を与えることになると考えています。広域連携だけでは、小野寺議員 第1次の合併問題から直接的にかかわってきた者として、今回の合併見送りは納得できない。先の第1次合併問題当時、私は「合併見送り」の先鋒であったが、現状を考えると山村に存在する小規模自治体は合併すべきと思う。広域連携イコール合併という問題に連結することができないのか。町長 これまで、最上8市町村が一緒になるという前提にたつた場合、協議会の前の段階で8市町村の現状より新庄最上の将来について話し合うべきという提言をしたが受け入れられなかった経緯があります。これから最上地域が協力連携し、そして将来的に一緒になれるということも視野に入れないながら地固めをしていきたい。これまで市町村合併に取り組んだ事例を見れば、合併によって職員数削減による効率化が図られた反面、都道府県並みの面積の自治体になったことで周辺地域の衰退や公共サービスの低下を招いた例など様々な弊害も報告されています。今後についても、国等の動向に注視し、住民の福祉増進、幸せづくりを基本とした町政を進め、その上で金山町となら合併したいと言われる町づくりに努めてまいります。

条例・規則

●かねやま応援基金の設置、管理及び処分に関する条例

●ふるさと納税制度による寄付金の有効活用を図るために基金を設置。

●金山町財政運営基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

●国から無償譲渡された山林を町有林として管理するため。

●金山町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

●地方自治法・地方公務員法の改正に伴う文言等を整理するため。

●金山町議会会議規則の一部改正

●全員協議会を議会活動として規則に規定するため。



規約

●山形県市町村職員退職手当組合格約の一部変更

●月山水道企業団の解散により、規約から削除するもの。

請願の採択

●上河原急傾斜地崩壊対策事業について

●請願者

十日町区長 伊東作次郎

七日町区長 山田 勝

内町区長 丹 潔

水利組合長 柿崎 昭一

紹介議員 小野寺賢一

岸 綾子

人事

教育委員

山科奈津子氏

井上教育委員の辞任による、教育委員の任命について、山科奈津子氏(七日町)が同意されました。

委員会の活動報告

総務文教常任委員会

問 ふるさと納税の状況は。

川崎総務課長 現在の町への申込は68件、金額で218万6,000円となっています。

問 中学校部活での町有バス利用について父兄負担はあるのか。

佐藤総務学事係長 試行期間は3月までとなりますが、父兄負担はありません。

問 診療所の多額な赤字補填は想定されていたのではないかと。赤字額も限度で第二の改革(無床・廃止)も考えるべきではないか。

総務課長 入院患者の減少が予想を超えたことが最大の要因です。診療所フォーラムで、現状と課題を説明しながら診療所の利用をお願いした。第二の改革は必要と考えているが、現段階で期限を明示することは難しい。

問 「身の丈にあった」診療所にすべきでは。総務課長 町民の安心・安全を考えながら、町民の声や経営委員会の意見を聴き議会と一緒に考えていきたい。

産業厚生常任委員会

問 町単独のほ場整備を継続すべきと思うが来年度の見通しは。

正野産業課長 事業の評価は高いので、財政当局と前向きに調整していきます。

問 みすぎ荘の増床計画は。

健康福祉課長 増床を含めた介護保険事業計画の策定を進めています。

問 神室スキー場管理センター2階部分の有効活用をどう進めるか。

産業課長 町民の方の営業希望がなかったため、町外の方にお願ひしています。が、来年度以降は再度検討します。

問 昨年の福祉燃料券で、期限切れのため使用できなかった方もいるが。

健康福祉課長 民生委員の協力をいただきながら声掛けしていきます。

問 町民フォーラムでの町民の声を診療所職員はどのように考えているか。

小沼事務長 町民皆さんの声を直接聞き、大変有意義でありました。貴重な提言に感謝し、皆さんに親しまれ利用いただける診療所にしていきます。



(診療所フォーラム・下中田)



(請願審査の現地調査)